

(単元)看護の実習

(本時のねらい)

3年生が学習する科目「生活と福祉」では、座学と実習の授業を行いながら、基本的な介護知識と家庭看護の知識を習得することを目的としている。ICTを活用することで専門的な器具や用具の扱い方を含む基礎的な知識や技術を習得できるようにしている。今回は生徒にとっても身近な問題でもある糖尿病についてグループで調べ学習をし、発表させることで生徒の深い学びにつなげることを目的とした。

(ICT活用方法)

4班にグループ分けをさせ、それぞれに糖尿病について知ってもらいたいテーマを与え、調べ学習をさせた。調べた内容についてはプレゼンテーションソフトを使って5枚のスライドにまとめさせ、発表させる。まとめるときの評価も生徒たちに事前に伝え、内容の充実を意識させた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・本時の学習内容を知る。	・生徒に学習の準備をさせる。	・プレゼンテーションソフトを使った発表方法について
展開 40分	・各グループで調べた内容を発表する。	・発表の仕方について説明し、評価基準を知らせる。 ・発表内容（糖尿病）の要点を確認させる。	・プロジェクタで投影しながら、発表する。
まとめ 15分	・糖尿病についてまとめる。 ・本時の学習内容を確認する。	・原因と予防の方法について再度確認させる。 ・本日の要点について確認させる。	・糖尿病についてのまとめたスライドを見せながら説明する。

(授業の様子)



調べ学習をする生徒



グループで発表する生徒

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

I C Tを活用することで、生徒の興味に合った情報収集が簡単に行うことができた。また、I C Tを生徒が活用することで情報をまとめる力や発信力、表現力など、現代の社会に必要とされる能力を身につけるのに大変有効だと感じた。今回の取組は2年目であるが、生徒のP C操作能力によって評価に大きく差ができ、糖尿病についての調べ学習よりも発表スライドの作成に時間を要し、本末転倒だと感じる場面もあり、今後、改善を要する結果となった。